

多賀

taga



No.55

平成28年3月1日発行



祭事

平成二十八年

四月～九月

古例大祭

四月二十二日(金)

鎌倉時代から伝わる当社年間の最重要儀。「多賀まつり」とも呼ばれ親しまれています。「馬頭人・「御使殿」を主宰とし、お祭りが斎行され、当日は騎馬行列、神輿、鳳輦など五百名にも及ぶご神幸が町内を練り歩きます。

御田植祭

六月五日(日)

ご神田にて早乙女が古式ゆかしく田植歌に合せてお田植を行います。舞台では尾張万才や神楽が行われ、多くの参拝者、カメラマンで賑わいます。ここで植えられた稲は大切に育てられ、秋に収穫し年中祭典にお供えされます。

夏越の大祓

六月三十日(木)

六月の晦日、日々の生活の中で知らず知らずの内に、身に付いた罪穢れを祓い清める神事。罪穢れを人形へ移し、河原に流します。更に茅の輪をくぐり心身ともに祓い清めて、清々しく下半期を迎えます。



万灯祭

八月三・四・五日(水・木・金)

黄泉の国(死後の世界)を司る伊邪那美命に祖先の御霊の守護を感謝し献灯するお祭。境内に掲げられた約一万灯の提灯が、多賀の夜空を飾ります。期間中、神楽や多賀音頭など各種イベントが催され、夏の風物詩として賑わいます。

九月古例祭

九月九日(金)

重陽の節句、秋の大祭として、「頭人」が選定され斎行されます。境内にて農作の吉凶を占う「古知古知相撲」が執り行われる他、騎馬行列、鳳輦のご神幸が町内を練り歩きます。

講社大祭

九月二十八日(水)

約三万五千戸の多賀講を代表して献幣使が選定され、家内安全、延命長寿を祈る大祭で、全国から多くの講員が参拝します。また、前日には献華式が行われ数多くの生け花が、参拝者の目を楽しませてくれます。

ご挨拶

いよいよ弥生三月、生気漲る春を迎えました。

氏子崇敬者の皆様には、お揃いお健やかにお過しのこととお喜び申し上げます。

遅れ馳せながら、この新しい年が、皆様にとつて輝かしい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

私こと、昨年四月の多賀まつり（古例大祭）を前に宮司を拝命致し、十一月には片岡欄宜が権宮司に就任、年末を控えて漸く新執行体制が整うこととなりました。

そうして迎えた新年は希にみる好天に恵まれ、三ヶ日四十万人を越える人出で、ご社頭殷賑を極めましたことはこの上なく有難いことでありました。

職員一同、改めて祭祀の厳修とご社頭の隆盛に邁進する思いを新たに致しておりますので、何卒変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

宮司 犬上 岳

多賀の杜は今芽吹きの子を迎えておりますが、ここ数年來、倒木や枝折れ等甚だ憂慮される事案が頻発し、過般、専門家に危険木と杜の健全育生のための調査を依頼したところ、その答申を得ましたので、真に恐れ多いことながら、神社本庁のご許可を得た上で、必要な手入れを施し、以って杜の健全育生に努めたく、平成の大造営事業完工後も末社等の改修工事を取り進めてまいりましたが、幸い、明年度の三宮神社・聖神社二社一棟の改修を以ってその全てが完了することから、引き続きこの多賀の杜の整備事業に着手致しますことを氏子崇敬者皆様には、何卒ご理解賜りますよう、社報紙上ながら、お願い申し上げます。

尚、当該事業は、祭典行事日、社頭繁忙期を避ける他、手入れに叶う時期を勘案しながら実施するため、概ね二乃至三年の継続事業となりますことを申し添えます。

四月二十二日 古例大祭(多賀まつり)

馬頭人

清水 克己氏
しみず かつみ



昭和二十年一月五日生まれ
(満七十一歳)

住所：彦根市京町
現職：(株)清水鐵工所 代表取締役社長
役歴：元彦根青年会議所理事長
元彦根ロータリークラブ会長

御使殿

中居 和也氏
なかい かずや



平成五年十二月四日生まれ
(満二十二歳)
住所：多賀町久徳
近畿大学建築学部(三月一日現在)



- 午前八時三十分 本殿祭
- 午前十時三十分 お渡り調宮神社へ出発
- 午前十一時三十分 調宮神社に到着
- 午後一時 調宮神社を出発
- 午後二時 本社前を通過
(馬頭人・御使殿合流)
- 午後二時三十分 尼子のお旅所に到着
- 午後三時三十分 富ノ木渡し式
- 午後四時 尼子のお旅所出発
- 午後五時 本社到着 夕日の神事

湖国の春を彩る古例大祭は左記の通り斎行されます。
午後二時から、列次(騎馬四十頭を含む)が勢揃いして、お祭りのハイト「本渡り」を迎えます。



祈年祭（豊年講春季大祭）

三月十七日、五穀豊穰を祈願する祈年祭が斎行されます。
 本年は一万八千名の豊年講講員を代表し、豊郷町日枝地区大世話係久木淳行氏が祈年使をこ奉仕されます。



祈年使
 ひろさき あつゆき
 久木 淳行氏

豊年講春季大祭祈年使を奉仕するにあたり

去る一月十五日豊年講大世話係会において、栄えある祈年使に選定され今年の祈年祭をこ奉仕させていただくことになりました。

これも偏に大神様からのご指名と講員皆様の支えがあつてのものだと感謝しております。

私は、現役時代三十年に亘り株式会社丸善に勤務し、定年後は五反の稲作と趣味のゴルフに精を出す日々を送っております。そんな私に訪れた今回のご縁に感激し、当日はお多賀様のご神前で誠心誠意こ奉仕させていただきます。



境内紹介

3

金咲稻荷神社



「お金の咲くお稲荷さん」と縁起もよく商売繁盛・社運隆昌を願う多くの人の信仰を集めています。境内周辺は多くの職と鳥居が奉納されており、昨年には東和陶器有限会社の老朽化した大鳥居の建替えが行われました。



たがみち

Tagamichi

Vol. 6

御代参街道
ごだいさんかいどう

蒲生・八日市

旧蒲生町

鑄物師^{いもじ}と岡本の境界付近には旧道がありました。鑄物師診療所やJAの西側に残っています。「測量部地図」には、その道は描かれていませんが学校の記号が記されており、鑄物師や岡本の「地券取調総絵図」で分かります。

岡本宿は半宿で、日野の石原宿と二宿でひとつの宿場になっていました。

しばらく行くと「右水口いがミち左いセミち」の道標があります。左へ行るのが京街道です。



【写真①】岡本の道標



御代参街道「旧蒲生町」(明治26年測図の陸地測量部地図に加筆)

やがて、謄写版で有名な堀井家の洋館を改装した「ガリ版伝承館」が左手に見えます。御代参街道はその手前を右に折れます。その北東の角に「右たかみち 左八まん道」の道標があります

【写真①】。まっすぐ行く道は市子松井、川合を経て八幡に通じています。

岡本から大塚へ抜けますが、新しい川に沿って新しい道がついています。

近江鉄道の小さな踏切(朝日大塚駅南)を渡り掛出溜に出ます。溜のほとりに「右寺村カバタ道 左上小房八日市道」の道標が建っています。



【写真②】恵比須神社境内

掛出溜を左折し、しばらく行つて左久良川を渡ります。旧道は桜川東の集

落の中を通り、榎原神社^{とちはら}の前に出ます。

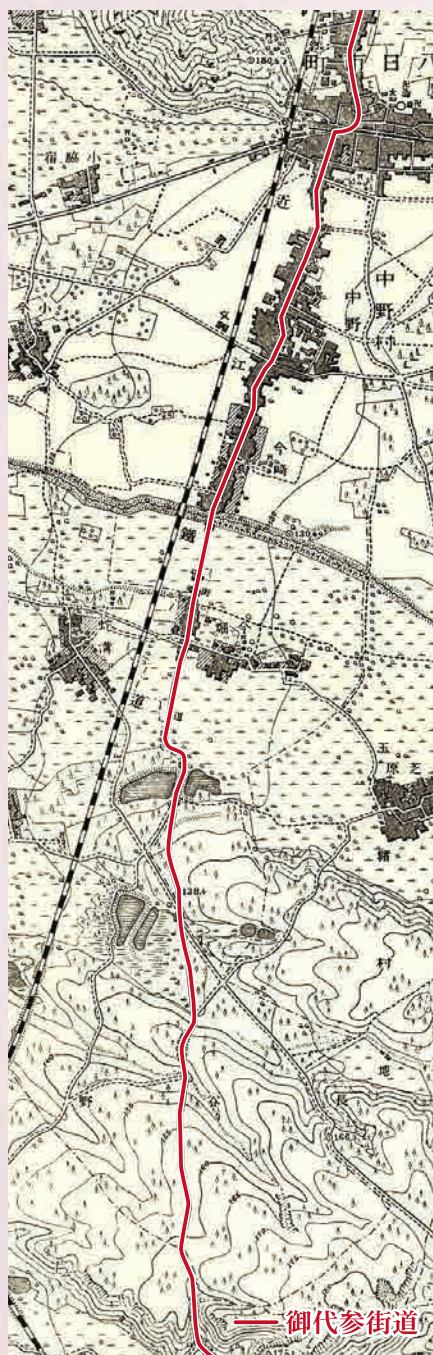
現在は新道が出来ています。

蛇溝・中野

恵比須神社(川合畑田)の境内に「右たか八日市 左むさ八まん」と書かれた嘉永二年(一八四九)の自然石の道標があります【写真②】。以前は「御代参街道」沿いにあり、畑田からの道との合流点に建っていました。

旧八日市の蛇溝に入り、京セラ八日市工場、三光合成の前を通ります。蛇溝にも多くの道標が建っています。

子安地藏堂には弘化二年(一八四五)



御代参街道「蛇溝～八日市」(明治26年測図の陸地測量部地図に加筆)

の道標「右いせひのみな口道 左いしと うさくら谷みち」が移されています。

次の交差点北西に、「右たか社八日市道 左西京八まん道」の道標(明治二十七年 一八九四)が建っています。が、子安地藏前に移された道標と相對していたと考えられます。

布引団地を越え、「見返り稲荷神社」と道路を挟んだ反対側に「右たか八日市 左むさ八まん道」と彫られた常夜灯型の道標が建っています【写真③】。弘化二年に建てられたものですが、動いています。傍らにある看板には元の位置が説明されています。

今堀に入ると、玉緒街道との分岐点に「右玉緒市原道 左八日市飛行場太郎坊多賀道」の道標があります。昭和五年(一九三〇)のものです。

また、今堀と今崎の境界である蛇砂川沿いに「従いせ山田江廿五里」



【写真③】蛇溝の道標

(安政五年 一八五八)と彫られた石灯籠があります。

中野に入り、しばらく行くと四辻に出ます。交差する道は畑街道とよばれ、小脇町四辻から中野を通り沖野を横切り札の辻に出る道で、八風街道の間道になっていました。

北東角の奥出酒店の場所のもと高札場であったといわれています。この角に「右永源寺道 左たかみち」【写真④】、向かいの南西の角に「右京武佐

旧八日市町

道 左いせみち」の道標が建っています。共に享和三年(一八〇三)に建てられており、現在は中野神社に移され保存されています。

八日市は神崎・蒲生郡境に形成された古代以来の市場。明治二十二年に八日市村、金屋村などが合併して八日市町が発足しました。

八風街道と交差する南西の角に「右京むさ八まん道 左いせひ乃みな口道 右多賀えち川ひこね道」(文政九年 一八二六)の道標が建っています。「親玉」が前にあります。

昭和九年(一九三四)後川に蓋をしたときに今の金屋通りは広くなりました。後川にかかる金屋大橋のふもとに道標がありました。「右ごちによらい

左北国たか道 右いせみち」とあり、現在は金念寺(金屋二丁目)に移されています【写真⑤】。

浜野を通り旧建部村へ向かいます。

(門脇正人)



【写真⑤】金念寺の道標



【写真④】中野神社の道標

多賀道プロジェクトコアメンバー

- ・多賀大社
- ・シブヤ写真館(渋谷博)
- ・多賀町立博物館
- ・門脇正人(愛荘町立歴史文化博物館顧問)
- ・中川穰(郷土史家)
- ・中川信子(多賀町文化財保護審議会委員)

表参道「絵馬通り」が変わります



平成二十九年三月完工を目途に整備が行われ、門前町の風情あふれる石畳の表参道に生まれ変わります。

「参拝者が歩きやすい道路整備を」との要望を受けた多賀町が施工。景観だけでなく、色合いやボラードによる歩車分離の工夫がなされ、安心安全な表参道「絵馬通り」が完成する予定です。

境内にて朝市を開催

「多賀で朝市実行委員会」主催による朝市が、毎月行われています。

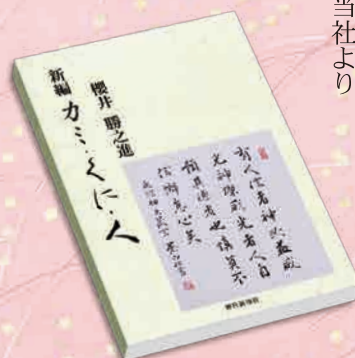
野菜や雑貨などを中心に、約二十店舗が出店しています。是非お立ち寄りください。



新編 カミ・くに・人

櫻井勝之進前名誉宮司ご逝去十年を迎え、この度「新編 カミ・くに・人」が刊行されました。同書は、かつて当社より

出版された書籍に収載された論説を取捨選択し、その後の論説を加え再編集したものです。



賑う正月

本年は好天に恵まれ、三ヶ日の人出は約四十万人。

参拝を待つ長蛇の列は神門を超えて外の道まで溢れかえりました。

そうしたなか、二日には多賀町出身の「東北楽天ゴールデンイーグルス」則本昂大選手が参拝、今季の必勝祈願をされました。



権宮司就任挨拶



片岡 秀和

略歴

〔昭和三十年〕

長浜市余呉町出身

〔昭和五十二年〕

皇學館大學國文学科卒業
大神神社(奈良県)奉職

〔平成元年〕

多賀大社奉職

昨年十一月、犬上宮司様の格別のご推挙と、役員皆様のご承認をいただき、権宮司の大任を浅学非才の身ながら拝命いたしました。

時の趨勢が早く、神社界に於いても益々多様化しつつありますが、今必要とされる神道人は、人が生きていく上で欠くべからざる意義を存するものと思慮し、先ず祭祀の厳修を心中にご奉仕させていただきます。微力ですが、肝要だと考えています。微力ではありますが、大神様のご加護と氏子崇敬者皆様のお力添えを頂戴しながら職員共々宮司様を補けてご社頭のご隆昌に身の限り真心尽くして勤しみたいと思いを新たに致しております。

茲に遅れ馳せながら、就任のご挨拶を申し上げます。



絵馬殿照明

多賀名物糸切餅を製造販売する多賀屋の北川敬一郎会長は、金婚と傘寿を記念して、絵馬殿にレトロ調の照明器具一式を奉納されました。

地元で建設業を営む株式会社多賀組の菅居育生社長は、社長就任十年を記念して、白木の案を奉納されました。

白木案



神の念篤く、お田植祭の団扇の絵を染筆頂いておりました。



絵画

滋賀県文化賞受賞画家故島戸繁氏の絵画作品「午後のひととき」が、ご子息の島戸陽氏より奉納されました。

故繁氏は当社への敬

奉納品

本年より、ご参拝の皆様により多くご本殿でご祈禱をお受け頂けるよう、初穂料一万円よりご本殿祈禱を奉仕致します。

ご祈禱料

本殿特別祈禱	20,000円より
本殿祈禱	10,000円より
拝殿祈禱	5,000円より

祈禱料改定

参の方には朱印を押させて頂きます。

を産み、お産も軽いことから、これにあやかり戌の日に安産祈禱を受けるようになったと言われている。



古くから妊娠五ヶ月目に入った戌の日に安産祈禱をする風習があります。

犬は沢山子

戌(いぬ)の日は安産まいり

当社では毎年人生の節目の年をお祝いし、長寿を願う「延寿祭」を斎行しております。

今年、めでたく節目の年をお迎えにた

きました皆様には、是非ご参列お申込みをお待ちしています。

初穂料

【各延寿祭】おひとり…一五、〇〇〇円

【金婚延寿祭】ご夫婦で…二〇、〇〇〇円

(ご祈禱・お食事・記念品付き)

☆いずれも付添者は一名に付き…五、〇〇〇円

(食事付き)

詳細は神社までお問合わせ下さい。

(要予約)

平成二十八年延寿祭のご案内

	年齢	該当年	祭典日
古稀	70歳	昭和22年生	3月25日(金)
喜寿	77歳	昭和15年生	10月7日(金)
傘寿	80歳	昭和12年生	5月12日(木)
米寿	88歳	昭和4年生	5月21日(土)
金婚	結婚50年	昭和42年に結婚されたご夫婦	4月4日(月)



節分祭

鬼は外!
福は内!

去る二月三日に節分祭が斎行され、還暦を迎えられた昭和三十一年生まれの年男・年女二〇三名が福豆・福餅撒きをこ奉仕し境内は福を求める参拝者で大いに賑わいました。
尚、奉仕者ご芳名は次の通りです。
(順不同・敬称略)

奉仕者ご芳名

●愛荘町

吉岡 助次
川口 孝次
宮尾 和孝

宮尾 八千代
河村 建

東 美恵子
中村 秀成

●近江八幡市

松本 剛明
畑 幸宏

馬場 清一
松浦 弥寿男

橋口 秀雄
小西 信弘

船橋 則子
青木 宏一

中江 康男
宮村 正明

川端 保之
●日野町

川口 道夫
稲垣 喜八郎

沢田 友男
●北名古屋

野田 幸司

●草津市

塚田 耕司
松本 眞治

●甲賀市

吉川 忠志
堀内 伸尚

堀内 千代美
上杉 広盛

芥川 敏信
神山 初代

松井 和彦
松岡 一善

藤川 清文
森田 和弘

奥村 勝
中島 常幸

中島 一憲
藤江 慎二

西山 恒夫
北野 行雄

加茂 礼二
船田 昌宏

柚木 隆寿
田中 正昭

河合 寛
河合 勝

●多賀町

竹内 克己
一之瀬 善久

●甲良町

藤居 彰
陌間 守

若林 嘉昭
若林 嘉昭

●豊郷町

奥川 勇
西山 道夫

●長浜市

赤塚 吉博
西山 雅造

岩佐 斉
川村 芳弘

横田 美知男
横田 美知男

藤橋 金光
藤橋 文典

田村 勝代
野口 正子

福井 通
福井 通

山崎 清和
吉田 治

石原 昌和
中川 久友

柴山 五基
脇坂 徳人

泉 巧
速水 貢司

横尾 明美
吉村 藤夫

北川 謙二
澤村 新一郎

前川 文夫
川瀬 利弥

中川 正人
雲 康誠

澤井 俊孝
川崎 太門

植松 正臣
杉中 宏行

川崎 捨雄
金澤 秀樹

林 孝司
野村 俊明

西川 隆晴
中町 房雄

梅本 正和
中島 康雄

山崎 清和
吉田 治

石原 昌和
中川 久友

柴山 五基
脇坂 徳人

泉 巧
速水 貢司

横尾 明美
吉村 藤夫

北川 謙二
澤村 新一郎

前川 文夫
川瀬 利弥

中川 正人
雲 康誠

澤井 俊孝
川崎 太門

植松 正臣
杉中 宏行

川崎 捨雄
金澤 秀樹

林 孝司
野村 俊明

生駒 敏夫
村中 好和

宮村 繁治
宮村 清孝

月ヶ瀬 雅二良
鳥塚 三男

藤田 與史雄
片山 喜久夫

柳ヶ瀬 義昭
清水 善信

清水 政一
片山 和夫

伊藤 喜久雄
米田 吟栄

安藤 雅章
川田 吉丈

安陪 吉治
吉内 一男

宮田 重己
高橋 庄一郎

野村 増宏
岩佐 清文

大橋 基明
真杉 弘

中山 広司
田辺 昌弘

山口 富美夫
伊達 清太郎

佐野 弘昌
小椋 正広

草野 豊行
草野 好行

北川 清
伊藤 肇

伏木 直之
宮川 善裕

山田 隆司
大沢 伸行

清水 正作
三田 勇

饗場 真司
柴田 哲生

柴田 博文
宮村 一好

土田 守
松井 稔

嶋崎 善弘
●東近江市

鯉江 利治
鯉江 小夜子

西田 誠克
藤川 弘一

藤田 幸夫
溝江 透

中西 富志夫
沖 秀生

佐野 弘昌
小椋 正広

西川 信之
西川 真砂美

池内 豊
岡村 雅臣

木村 博
周防 伊三雄

廣田 由喜男
本郷 享

布施 寿啓
谷口 勝美

寺井 伊三男
畑 清次

田中 進
●彦根市

居森 敏夫
宮下 照夫

小西 峰久
寺村 法雄

小西 正男
藪野 昭

早崎 修
加藤 義朗

馬場 喜代一
辻 清美

吉田 伸吉
平居 慎一

森野 寛志
●米原市

西川 信之
西川 真砂美

西川 真砂美

田中 秀和
廣瀬 正勝

北川 初喜
久保田 清秀

林 一男
山口 良子

児玉 伸一
平居 啓

清水 和幸
●栗東市

山口 克己
奥村 治

加古 大成
川崎 和彦

堀池 昌司
梅景 康裕

三浦 寿明
井上 寛

井上 顕良
●竜王町

甲津 久生
廣田 孝吉

徳本 明彦
松田 英夫

小森 治太
杼木 栄司

西川 信之
西川 真砂美

西川 真砂美



参集殿からのご案内

挙式・披露宴承り中

結婚式は、おふたりの
一生に一度の大切な日。
和やかなひとときを
多賀大社参集殿が
まごころを込めて
お手伝いさせていただきます。



お宮詣り・お祝いの食事会のご案内

お祝いの食事会はいかがですか。お宮詣り・人生節目のお詣りの後にお食事・記念写真等承っています。



会席膳 5,000円

※写真はイメージです



松華堂弁当 3,000円



お子様ランチ 1,500円

お祝い会席膳
5,000円より

お祝い松華堂弁当
3,000円

お子様ランチ
1,500円より

記念写真(六ッ切りサイズ)
1ポーズ 8,800円

要予約 お食事・記念写真

ご飲食につき、別途 税・サービス料
10%申し受けます

お問い合わせ

0749-48-1103 (参集殿直通)

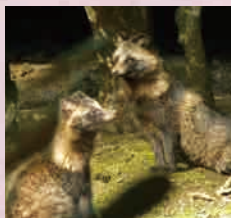
※完全予約制(年中無休)詳しくは
ホームページをご覧ください。

多賀大社参集殿

検索

編集後記 -夫婦たぬき発見-

奥書院で夫婦たぬきを見かけました。田畑では農作物を食い荒らすため毛嫌いもされておりますが、縁結びの神社に相応しく夫婦仲睦まじいほのぼのとした光景を目の当たりにすることが出来ました。皆様も運が良ければ奥書院拝観の折に出会うことが出来るかも知れません。



多賀町・多賀教育委員会・多賀観光協会主催
「多賀町町制六十周年記念事業 多賀遺産フォトコンテスト」より
福田尚人氏作「星の降る飯盛木」
※飯盛木：多賀大社ご神木

表紙写真

【舞女兼事務員】文室 紀美
(平成二十七年十月三十一日付)

【権禰宣】中野 哲彦
(平成二十八年一月三十一日付)

【権禰宣】古野 宗俊
(平成二十七年十二月二十二日付)

【権禰宣】中嶋 知也
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】三木 治夫
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】片岡 秀和
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】三木 治夫
(平成二十七年十一月五日付)

人事

昇進

【権禰宣】三木 治夫
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】中嶋 知也
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】片岡 秀和
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】三木 治夫
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】中嶋 知也
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】片岡 秀和
(平成二十七年十一月五日付)

【権禰宣】三木 治夫
(平成二十七年十一月五日付)

表紙写真

万灯祭

八月二日～五日

湖国の夏の風物詩

期間中、境内には約一万灯の提灯が掲げられ、

万灯市や楽しい行事が開催されます。

本年も皆様には何卒ご献灯いただき、ご家族お揃いでお参り下さい。